

臨床検査に関するお知らせ

株式会社セントラル医学検査研究所

先生各位

平成 23 年 6 月

A-11-14

新規実施項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、下記の検査項目を新たに受託開始致しますので、ご利用頂きたくご案内致します。

今後とも引き続きお引き立てのほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ 実施日 平成 23 年 6 月 13 日（月）ご依頼分より

◆ 新規項目

項目名	HBV 遺伝子型/EIA	項目コード	14460
検体必要量 (保存方法)	血清 0.5ml (冷蔵)	測定方法	EIA 法
基準値	設定せず	報告形式	A、B、C、D または (-)
報告単位	型	報告日数	3~10 日
検査実施量/判断 料	340 点*/144 点(免疫学的検査)		
備考	HBs 抗原量が少なく、型判定が不可能な場合に (-) とご報告いたします。		

*HBV ジェノタイプ判定は、HCV 特異抗体価に準じて算定する。B 型肝炎の診断が確定した患者に対して、B 型肝炎の治療法の選択の目的で実施した場合に、患者 1 人につき 1 回に限り算定できる。

次面をご覧下さい。

HBV は、ゲノム DNA の塩基配列の違いにより A~H の 8 種類の遺伝子型に分類されます。日本においては A, B, C, D の 4 種類の遺伝子型が見られ、うち B と C で 97%を占めますが、近年、都市部を中心に遺伝子型 A の B 型急性肝炎が増加しております。

また、「B 型慢性肝炎の治療ガイドライン」において、「B 型肝炎は、HBV genotype により治療効果が異なるため、genotype を測定して治療法を決定する。特に、genotype A, B は、35 歳以上でもインターフェロン (IFN) の効果が高率であることから、可能な限り IFN を第一選択にすることが望ましい。」とされています。

本検査は、PCR などの核酸増幅は行わず、サンドイッチ酵素免疫測定法 (EIA) を用いて、HBs 抗原の PreS2 領域に存在する 4 つの異なる抗原決定基 (エピトープ) を検出し、その有無の組み合わせから、遺伝子型 A, B, C, D を判定します。

EIA 法による HBV 遺伝子型の判定は、B 型肝炎の治療法の選択などに有用な情報を提供できるものと期待されます。

【参考文献】

- 1) 田中靖人, 他 : 臨床病理 57(1) : 42-47, 2009.
- 2) Usuda S, et al. : *J Virol Methods* 80(1) : 97-112, 1999.
- 3) 厚生労働省研究班による B 型慢性肝炎の治療ガイドライン (2011 年 3 月改訂)